

第2回 学校運営協議会 議事録

| | |
|--------|-----------|
| 校名 | 府立東淀川支援学校 |
| (准)校長名 | 太田 正義 |

| | |
|---------|---|
| 開催日時 | 令和2年11月20日(金) 10:00 ~ 12:00 |
| 開催場所 | 大阪府立東淀川支援学校 校長室 |
| 出席者(委員) | 奥山委員 中上委員 岩下委員 末浪委員 岡委員 |
| 出席者(学校) | 太田校長 久井教頭 川村教頭 加藤事務長 石田首席 |
| 傍聴者 | 無し |
| 協議資料 | 令和2年度学校経営計画、令和3年度採択予定教科用図書一覧 学校運営協議会実施要項 |
| 備考 | 協議時間内に東淀川まつり予行練習(生徒の舞台発表)の観覧も行う |

議題等(次第順)

1. 学校運営協議会実施要項について
2. 令和3年度採択予定教科用図書について
3. 令和2年度学校経営計画進捗状況について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1. 学校運営協議会実施要項について
議事 第10条9及び10 オンライン会議システムを利用して会議に出席できる内容が追記された。利用に関して委員より使用機器等の環境整備や方法について質問があったが、利用時には委員間でも情報共有をして行えるようにすると前向きな意見が出された。オンラインシステムに関連してコロナウイルスの影響で長期欠席になっている児童生徒へのオンライン授業について質問があった。オンライン学習を予定していたが家庭状況により実施に至っていないことや地域校との交流及び共同学習を予定していることを報告した。
2. 令和3年度採択予定教科用図書について
教科書の使用頻度について意見交換がされた。学習ツールとして活用して指導に生かしていくように教員間での情報の共有・交換を行い、活用を奨励していくようにする。また、軽度の児童生徒が多くなり大学への進学への希望も今後増えると思われることなどがあげられた。電子教科書が児童生徒の学習に有効な教材であるが、使用する教職員の能力を伸ばしていく環境の整備も併せて行っていく必要があるとの意見があった。
3. 令和2年度学校経営計画進捗状況について
学校経営計画に沿って、個別の指導計画・個別の教育支援計画の様式改定のとりにくみ、交流及び共同学習のとりにくみ状況、防災のとりにくみ、ホームページの情報発信等について校長より報告を行った。委員から個別の指導計画の改定について、目標(ゴール)が抽象的では、評価が明確にならないため、目標を確認できる様式にすること、活用できるものであることが重要であるとの意見があった。コロナウイルス感染症の影響で学校が休業中に取り組んだ内容や成果を表す必要性があることや、学校と地域との交流の進め方についてやコロナ禍での防災計画における学校授業中の対応を地域・近隣校と連携して行えるように検討を進める必要があるとの指摘があった。近隣校での防災訓練の見学や、区役所と地域防災リーダー・近隣校との会議を持ち検討を進めていることを報告した。ホームページのリニューアルについては、目的や保護者のニーズが汲まれているかなどについて意見交換があった。時間外労働の超過勤務者が減少しないことについて、長時間労働をしている理由の検証が必要であることや放課後等デイサービスの配車対応について事業所と連携し負担を減らすことが必要であり、事業所に協力を得るようになることが必要であるなど各項目で活発な意見が出された。

次回の会議日程

| | |
|----|---------------------------|
| 日時 | 令和3年 2月19日(金) 10:00~12:00 |
| 会場 | 大阪府立東淀川支援学校 図書室 |